

令和 7 年 6 月 定例会

質問（質疑）要旨

一般質問（一括質問・一括答弁）

（ 1 日 目 ）

6 月 11 日(水) 午前 10 時

（ 2 日 目 ）

6 月 12 日(木) 午前 10 時

高 岡 市 議 会

◎ 第 1 日 目 （ 6 月 11 日 ）

- 1 田中 勝文（未 来 創 政 会）…… 1
- 2 大井 正樹（未 来 創 政 会）…… 3
- 3 梅島 清香（未 来 創 政 会）…… 4
- 4 山上 尊士（公 明 党）…… 5
- 5 上田 武（立憲民主・社民議員団）…… 7
- 6 熊木 義城（高 岡 愛）…… 8
- 7 埜田 悦子（立憲民主・社民議員団）…… 9

◎ 第 2 日 目 （ 6 月 12 日 ）

- 8 坂林 永喜（未 来 創 政 会）……10
- 9 新開 広恵（公 明 党）……11
- 10 福井 直樹（未 来 創 政 会）……12
- 11 酒井 善広（未 来 創 政 会）……13
- 12 石須 大雄（立憲民主・社民議員団）……15
- 13 林 貴文（自由民主党高岡市議会議員会）……16
- 14 曾田 康司（未 来 創 政 会）……17

通告順位 1

議席番号	氏 名	所 属
6	田中 勝文	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 高岡市D X推進アクションプランについて (1) オンライン申請やキャッシュレス決済など、行政手続きに関するデジタル化の進捗状況は。 (2) 今年度のアクションプラン改定のポイントと今後の推進方針は。 2 地域防災力強化について (1) 防災士登録状況は。 (2) 本市各地区の地区防災計画の進捗状況は。 (3) 防災意識を高める取り組みをどのように進めていくのか。 3 未来への投資について (1) クラウドファンディングについて ① これまでのクラウドファンディングたかおか事業の認定プロジェクトの状況は。 ② 認定プロジェクトの実現に向けて、どのような支援を行っているのか。 (2) 本市キャリア教育等の推進について ① 教育現場でのキャリア教育の取り組みは。 ② 学生と企業をつなぐ取組である青春インターン事業とキワプロの実績は。 ③ 若者・女性起業家支援事業について ア 事業の見通しは。 イ 起業につなげるため、学生で構成する団体が自主的に企画・出店を行える環境を整えては。	

通 告 事 項	備 考
(3) 本市総合計画の重要な要素である「ひとの力」を活用したまちづくりを前に進めるため、ひとの挑戦をどのように応援していくのか。 4 リーディングD Xスクール事業について (1) 五位小学校及び五位中学校が令和7年度指定校となったが、リーディングD Xスクール事業において重視していることは。 (2) 教育現場のD X化が加速する中、教員の負担軽減のため、I C T支援員の充実などサポート体制がますます重要になると考えるが、見解は。 (3) 教育のD X化は大きな変化をもたらしているが、本市としてこの事業の先にどのような未来を描いているのか。 5 物価高騰の影響を受ける市民を支えるため、商店街等が行うプレミアム商品券発行事業への支援を提案しているが、期待する効果は。	

議席番号	氏 名	所 属
25	大井 正樹	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 農地・農業用水や環境等地域資源の保全活動への行財政的支援について (1) 農業の持つ多面的機能を十分に発揮させるためには、多面的機能支払交付金等の財政的支援の拡充が不可欠であるが、今後、市として国・県に対しどのような内容を要望していくのか。 (2) 本市の多面的機能支払交付金の活動組織が、将来的にも農業の継続が可能となるよう、市として具体的にどのような支援策を考えているのか。 (3) 多面的機能支払交付金制度が始まって以来、交付単価の見直しがされていないが、この間、インフレ率は毎年プラスで推移していることから、交付単価の見直しを国に強く要望すべきと考えるが、所見は。 (4) 農業用施設で発生する転落死亡事故が後を絶たないが、市として転落事故防止対策をどのように進めていくのか。 2 持続可能な本市農業の育成について (1) 本市が今年度から新たに取り組む「たかおか農の広場」交流促進事業の具体的な取組内容は。 (2) 本事業を通じて得られる知識や情報をどのように生かしていく考えか。 (3) 国が水田政策を抜本的に見直すとしている今、本市の農業を持続可能なものとするため、今後の高岡の農業に対する想いは。	

議席番号	氏 名	所 属
5	梅島 清香	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 「書かないワンストップ窓口」の取り組みについて (1) 本年1月からスタートした「書かない窓口」のこれまでの効果や成果をどのように評価しているのか。 (2) 県内初の取り組みと聞いているが、他自治体からの反響はあるのか。 (3) 「書かないワンストップ窓口」STEP2がスタートしたが、さらなる市民の利便性向上に向けて、この取り組みをどのように発展させていくのか。 2 本市におけるカーボンニュートラルへの取り組みについて (1) 「脱炭素先行地域づくり計画」の進捗状況は。 (2) 御旅屋セリオで計画している「環境啓発拠点」の検討状況と今後の見通しは。 (3) 環境省が実施する調査事業の中で、アルミリサイクルカテゴリーに本市が選ばれたが、本市の脱炭素の取り組みにどのような影響があるのか。 (4) カーボンニュートラル実現に向けて、まちなかなど脱炭素先行地域対象エリアでの取り組みを今後どのように市全域へ波及させるのか。 3 液状化被害の再発防止対策について (1) 公共施設と宅地の一体的な液状化対策の目的は。 (2) 地下水位低下工法の概要は。 (3) 地下水位低下工法とした場合の住民負担の考え方は。 (4) 液状化被害の再発防止対策として、面的な液状化対策に代わる手法も検討してはどうか。	

議席番号	氏 名	所 属
1	山上 尊士	公明党

通 告 事 項	備 考
1 若者や女性に選ばれるまちづくりへ向けて (1) 「青春（アオハル）インターン」事業について、今回の実績を踏まえて、今後どのように取り組んでいくのか。 (2) 「キワプロ」事業について、今後の課題と展開は。 (3) 学生と女性社員との交流会事業に関する取り組み状況は。 (4) 若者や女性の県外流出の課題解決へ向けた本市の考え方は。 2 高齢者福祉の充実に向けて (1) 本市における家族介護者の現状と課題は。 (2) 本市の居宅サービス利用者数の推移は。 (3) 本市の認知症の人の推移は。 (4) ビジネスケアラーについて ① 全国的にビジネスケアラーが増加してきているが、本市の受け止めは。 ② 市民向けにビジネスケアラーの存在を周知する必要があると考えるが、見解は。 (5) 本市の介護サービスについて誰でも手軽に知識や理解を深められるように、「TAKAOKAアプリ」を活用してはと考えるが、見解は。 (6) 在宅寝たきり・認知症高齢者介護年金等支給について ① 事業の利用状況は。 ② 今後、利用者が増えてくることが考えられることから、事業の更なる周知が必要と考えるが、見解は。 (7) 認知症予防対策として、中等度難聴者への補聴器購入補助を実施してはと考えるが、見解は。	

通 告 事 項	備 考
(8) 老々介護や介護離職、ダブルケア等、複雑・多様化する課題を抱えるケースが増えていると思われるが、その対応策は。	

議席番号	氏 名	所 属
21	上田 武	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
1 液状化対策について (1) 地下水位低下工法を試験的に行うことについて、被災地域である伏木、吉久、横田の説明会では、参加住民から同意を得られたのか。また、今後の説明会のスケジュールは。 (2) 地下水位低下工法の工事エリアの見直しを求める要望があった場合は、どのように対応するのか。 (3) 地下水位低下工法を採用した場合の維持管理費について、住民に費用負担を求めず、公費負担とすべきと考えるが、見解は。 (4) 住民負担をなくすため、県や関係市と連携し、国に対して強力的に支援を求めている。 2 学校体育館の空調設備設置について (1) 一部の学校において前倒しで実施設計をする理由は。 (2) 断熱性能を確保するため、体育館を改修する費用の助成のさらなる拡充を市長会や県と連携し、国に要望しては。 (3) 空調設備設置工事期間中における体育館での体育の授業や部活動の代替スペースの確保について、どのように考えているか。 (4) 空調設備の導入にあたり、学校体育施設開放事業でも空調の使用を認めてはと思うが、見解は。 3 戦後 80 年を迎えて (1) 戦後 80 年を迎えて、原水爆禁止高岡協議会の取組に市としてどう関わっていくのか。 (2) 児童生徒に平和の大切さと戦争の悲惨さ、核兵器の廃絶をどう伝えていくのか。	

通告順位 6

議席番号	氏 名	所 属
3	熊木 義城	高岡愛

通 告 事 項	備 考
1 こども医療費助成について (1) これまでの利用状況は。 (2) こども医療費受給者証について、マイナンバーカードとの一体的な運用を行っては。 2 安心して人生を送れる高岡の実現に向けて (1) 本市の「終活」に対する支援の取組は。 (2) 本市における身寄りのない高齢者の相談体制は。 (3) 本市において、全国のモデル事業を参考に終活支援事業に取り組んではと考えるが、見解は。 3 高岡古城公園樹木管理行動計画について (1) これまでの進捗状況は。 (2) 国・県の補助金やクラウドファンディング等による支援も踏まえ、今後の計画実現に向けた思いは。 4 企業版ふるさと納税について (1) これまでの取組状況は。 (2) 市外の企業にどのように広報を行っているのか。 (3) 寄附の受け入れ拡大を図るため、積極的に企業へ告知、広報を行うべきと考えるが、見解は。	

議席番号	氏 名	所 属
7	埜田 悦子	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
1 今こそ日本の食を守る農業施策を (1) 地域計画作成の中で、農業従事者から、地域農業の実態や在り方について、どのような声があったのか。 (2) 農地の暗渠排水管等の維持管理にかかる費用負担の軽減を図るため、国・県に財政支援を求めている。 (3) 本市における農作業事故の発生防止に向けた取組は。 (4) 農業の面白さや魅力を発信するため、本市における農業体験の取組は。 2 高齢化社会において終末までの伴走を (1) 高齢者の支援ニーズの複雑化が進む中で、地域包括支援センターの過去5年の相談件数は。 (2) 地域包括支援センターの負担増が懸念されるが、市としてどのように対応しているのか。 (3) 日常生活自立支援事業の利用を申し込んでも順番待ちで利用できない高齢者もいると聞いているが、本市における実態は。 (4) 人生いきいきノートを利用している高齢者やその家族からの声は。また、今後の改善の予定は。 3 市民の声を聴く市政を (1) 手紙、メールなどで市に届いた市民の意見や苦情などの令和6年度の件数は。 (2) タウンミーティングなど市民の声を直接聴く場を増やして施策に反映させては。	

議席番号	氏 名	所 属
15	坂林 永喜	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 高岡市民病院について (1) 新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行して以降、経営への影響は。 (2) 今後の本市の地域医療を支えていくために高岡市民病院として期待することは。 (3) 高岡市民病院は市民のニーズをどのような手法で把握しているのか。また、その対応は。 2 防災対策について (1) 既存井戸についての把握状況は。 (2) 既存井戸を活用するための方策は。 (3) 地区防災計画の実効性を高めることが必要と考えるが、見解は。 3 河川敷緑地公園について (1) 高岡庄川緑地公園の利用促進について ① 現在の利用状況は。 ② 更なる利用促進への配慮は。 (2) 高岡庄川緑地公園の維持管理について ① 現在の維持管理体制は。 ② 持続可能な維持管理体制のための課題とその対策の考えは。 4 本市の放課後児童クラブについて (1) 令和7年度以降の放課後児童クラブ増設の動きはあるのか。 (2) 放課後児童クラブに対し、本市が行っている独自の支援は。	

議席番号	氏 名	所 属
2	新開 広恵	公明党

通 告 事 項	備 考
1 子どもの読書環境の整備について (1) 本市の小中学校における、学校図書館に整備すべき蔵書数の目安を定めた学校図書館図書標準の達成率は。 (2) 学校図書に関して、児童生徒が利用したくなる質の確保や選書の観点は。 (3) 学校図書館の利用促進に向けた取組は。 (4) 本市における司書教諭及び学校司書の配置状況は。 (5) 小中一貫校では、生徒数が増加し幅広い年齢層への対応が必要になるため、学校司書の更なる配置拡充が求められるが、方針は。 (6) 高岡市子ども読書活動推進計画について、これまでの読書活動の取組や課題を踏まえ、内容の見直しを行っては。 2 女性が活躍できる環境づくりについて (1) 女性人材バンクがスタートして2年経過したが、登録件数など現在の進捗状況は。 (2) キャリアアップを目指す女性が活躍の場を広げる取組である女性人材バンク事業の取組状況と今後の課題に向けた対応策は。 (3) 女性がその能力と個性を十分に発揮できる社会の実現に向け、本市の基本的な考え方は。	

議席番号	氏 名	所 属
18	福井 直樹	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 ふるさと納税の推進に向けた取り組みについて (1) 令和6年度のふるさと納税の実績に減少傾向が見られたとのことだが、その要因等をどのように捉えているのか。 (2) 公募を開始した委託業者の再選定に関するプロポーザルについて、進捗状況は。 2 高岡型コミュニティ交通の推進について (1) 高岡型コミュニティ交通の特徴である市民協働型地域交通システムの利用状況と評価は。 (2) 市民協働型地域交通システムへの地域の関心度や更なる展開に向けた動きは。 (3) 高岡型コミュニティ交通の構築に向けた今後の展望は。 3 持続可能な農業施策について (1) 国が地域計画策定のモデル地区として本市内地域を選定したと仄聞しているが、その取り組み内容は。 (2) 今後の地域計画の見直しに向けた、本市の取り組み方針は。 4 強い高岡を創る施策について (1) 届出避難所の現状は。 (2) 自治会公民館再建支援事業の耐震化工事補助について、更なるPRをする考えは。 5 「高岡市上下水道耐震化計画」について (1) 策定した経緯とその概要は。 (2) 上関配水池の耐震化に向けた、今後の予定は。	

議席番号	氏 名	所 属
19	酒井 善広	未来創政会

通 告 事 項	備 考
1 高岡市民病院について (1) 「第Ⅴ期中期経営計画」は、本年度で5年目となるが、計画の進捗状況は。また、計画終了後の予定は。 (2) 新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金がなくなり、人手不足や人件費増もあり、ほとんどの自治体病院は、急激に収益悪化しているが、高岡市民病院の現状は。 (3) アフターコロナの時代、自治体病院は、将来の本格的な少子高齢化に対応した医療体制が求められるが、見解は。 (4) 収支改善施策実施のための経営支援業務を委託されているが、その内容と現状は。 (5) 総務省では、病院の「経営・財務強化事業アドバイザー」を無料で派遣しているが、この制度の利用を検討してはと考えるが、見解は。 (6) これからの病院の収益改善のため、具体的にどのような対策を講じているのか。 (7) 優秀な医師を継続的に確保するための方策として、寄付講座設置も考えられるが、市民病院としての医師確保策の考え方は。 (8) 厚生労働省は、早期退院に向けたリハビリ及び栄養管理を適切に提供する「地域包括医療病棟」への移行を想定しているが、今後の病棟の機能に対する考えは。 (9) 「地域包括ケア病棟」から「地域包括医療病棟」へ移行し、令和6年度診療報酬改定で見直された「総合入院体制加算3」の取得を目指してはと考えるが、見解は。 2 上下水道について (1) 本市における上水道・下水道未普及地域の現状は。 (2) 上水道・下水道未普及地域解消に向けての考えは。 3 災害に強いまちづくりについて	

通 告 事 項	備 考
(1) 庄川右岸の県営農村地域防災減災事業が始まっているが、受け止めは。 (2) 中田の市街地の浸水対策を進めるべきと考えるが、見解は。	

議席番号	氏 名	所 属
14	石須 大雄	立憲民主・社民議員団

通 告 事 項	備 考
1 ハラスメント対策について (1) 市役所におけるパワハラ対策は。 (2) 条例の制定について 東京都が令和6年10月に全国初となるカスタマーハラスメントに関して定めた条例、いわゆる「カスハラ条例」を制定したと聞くが、本市も市内で働く労働者のために条例の制定を検討してはと考えるが、見解は。 2 万葉ふ頭について (1) 伏木港が防災拠点港となるよう国や県に港湾計画の見直しを要望しては。 (2) 海上からの支援物資の保管機能を備えた旅客ターミナルの建設を国や県に要請しては。 (3) 伏木万葉埠頭バイオマス発電所の被災状況と支援は。	

議席番号	氏 名	所 属
9	林 貴文	自由民主党高岡市議会議員会

通 告 事 項	備 考
1 令和6年能登半島地震からの復興への取組について (1) 今後、本市の液状化対策事業を進めるにあたり、地元の費用負担以外の課題はどのようなものがあると考えているのか、見解は。 (2) 固定資産税の特例については、罹災証明書の被害の程度が半壊に至らなかった住宅を解体した場合も対象とすべきと考えるが、見解は。 (3) 津波の発生状況の把握にも資することから、港振興策の取組として伏木コミュニティセンターの屋上にライブカメラを設置してはと考えるが、見解は。 2 こどもまんなかの取組について - 本市の水泳の取組について ① 今年度、民間施設等を活用したプール授業の実証実験を実施しているとのことだが、本事業の背景及び目的は。 ② 今後の本市の水泳指導環境の充実に向けて、どのように考えているのか。 3 誰一人取り残さない取組について - 高岡市高齢者運転免許自主返納支援事業について、昨年2月からハンドル形電動車いすの購入支援も対象になったが、これまでの実績は。また、この事業の利用率向上を目的として、さらに条件緩和をしては。	

通告順位 14

議席番号	氏 名	所 属
23	曾田 康司	未来創政会

通 告 事 項	備 考
「高岡を前へ進める」ため全力を注いだ市政運営を振り返っての総括と、本市の将来像について、想いは。	